

科 目	数学Ⅱ	単 位 数	4 単位	年 間 授 業 時 間	1 4 0 時 間
対 象 学 年 ・ (組)	2 学 年 1 ～ 6 組	使 用 教 科 書 (出 版 社)	改訂版 新編数学Ⅱ (数研出版)		
	必 修	副 教 材 等	Studu-Upノート数学Ⅱ (数研出版)		

教 科 担 当 者

指 導 内 容 【年間授業計画】	具 体 的 な 指 導 目 標 【年間授業計画】	指 導 内 容 【年間授業計画】	具 体 的 な 指 導 目 標 【年間授業計画】	指 導 内 容 【年間授業計画】	具 体 的 な 指 導 目 標 【年間授業計画】		
4 月	第1章式と証明 第1節式の計算 1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 整式の割り算	・ 3次式の展開、因数分解の公式を理解する。 ・ 二項定理を理解する。 ・ 整式の除法の計算とその構造を理解する。	第4章三角関数 1. 角の拡張 2. 三角関数の加法定理 3. 三角関数のグラフ 4. 三角関数の性質	・ 一般角や弧度法について理解する。 ・ 三角関数の相互関係を理解する。 ・ 三角関数のグラフの形や特徴を理解する。	1 月	第6章微分法と積分法 第1節微分係数と積分法 1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式	・ 基本事項の積み重ねを重視し、微分積分の概念と計算に慣れる。 ・ 3次関数のグラフの接線を求められるようになる。
	4. 分数式とその計算 5. 恒等式	・ 分数式を理解し、計算能力を養う。 ・ 恒等式の考えを理解する。	5. 三角関数を含む方程式	・ 方程式、不等式を解く計算力を習得する。			
	第2節不等式の証明 6. 等式の証明 7. 不等式の証明	・ 等式、不等式の証明方法を理解し、適切な方法で行うことができる。					
5 月	第2章複素数と方程式第1節複素数と2次方程式の解 1. 不等式とその計算	・ 複素数について理解し、計算能力を養う。	第2節加法定理 6. 加法定理	・ 加法定理を導き、それから2倍角や半角の公式が証明できることを理解する。	2 月	第2節関数の値の変化 4. 関数の増減と極大・極小 5. 関数の増減・グラフの応用 第3節積分法 6. 不定積分	・ 微分の計算を使って3次関数のグラフがかけられるようになる。 ・ 不定積分の計算ができるようになる。
	2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係	・ 解の公式、解と係数の関係を理解し、計算能力を養う	7. 加法定理の応用	・ 三角関数の合成について理解する。			
	第2節高次方程式 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式	・ 剰余の定理を理解し、利用することができる。 ・ 因数定理を理解し、利用することができる。 ・ 虚数解に興味関心を持ち、高次方程式を解くことができる。				7. 定積分 8. 定積分と面積	・ 定積分の計算ができるようになる。 ・ 様々なグラフの面積が求められるようになる。
6 月	第3章図形と方程式 第1節点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係	・ 直線や平面上において、分点、距離、重心等の公式を理解する	第5章 指数関数と対数関数 第1節指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 第2節対数関数 1. 対数とその性質	・ 0や負の数の指数概念を習得する。・底の値に着目してグラフを理解し、指数関数の特徴を把握する。 ・ 対数の有効性について認識させる。	3 月	1年間のまとめ	・ 2年で学習したことを総復習する。
	第2節円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円	・ 点や直線に関する様々な関係性を理解する。 ・ 円の方程式が表す図形を理解する。 ・ 円と直線の位置関係、共有点について理解する。 ・ 2つの円と直線の位置関係について理解する。	2. 対数関数	・ 計算問題だけではなく図形的な内容も取り組む。			
	第3節軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域	・ 座標平面上の点の軌跡について理解する。 ・ 不等式の表す領域を求め、平面上に図示できるようにする。 ・ 領域と最大・最小について理解する。	第6章微分法と積分法 第1節微分係数と積分法 1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式	・ 基本事項の積み重ねを重視し、微分積分の概念と計算に慣れる。 ・ 3次関数のグラフの接線を求められるようになる。			
7 月							

【評価の観点・方法】

【評価の観点】
○基本的内容が的確に把握できているか、また、標準とされる技能が習得できているか。

【評価方法】
○授業中の態度を含む平常点、及び提出物、出席状況を配慮する。

*進度について変更がある場合は連絡する。